

【第3号議案】

令和2年度いわて未来政策・政経研究会事業計画(案)

1 普及促進事業

- (1) 実施時期 随時実施
- (2) 実施方法 ピアールポスター、ホームページ、パソコンメール、電話、ファクス等で、会の趣旨・政策提言内容等を広くピアールし、併せて会員加入を促進する。報道機関の協力について積極的に働きかける。

2 会報発行事業

- (1) 発行時期 4月、7月、10月、2月の4回
- (2) 構成 会の活動・決算等報告、中心課題に関する「論壇又は随想」、「対談又はインタビュー」記事、会員の技・芸を紹介する「一人一芸～プロフェッショナル」、会員の声・随想を掲載する「会員だより」、「文芸コーナー(俳句)」、「人物紹介」などから構成
また、十周年記念事業としての特集記事を掲載
- (3) 中心課題 4月…「産業と経済——AI(人工知能)始めとする科学技術の振興、グローバル化(社会的・経済的な関係の地球規模的拡大)の進展とも関連させて」、7月…「環境と防災プラス新型コロナウイルス対策」、10月…「国民の生活と福祉・医療——新型コロナウイルス対策とも関連させて」、2月…「女性活躍、教育・文化・スポーツ・芸術の振興」
- (4) 印刷方法等 パソコンで作成・印刷し、写真も挿入する。できるだけ低廉な方法で会員等に届ける。
- (5) 配付 会員に配付するとともに、会の活動を広くピアールし、また、掲載内容が各方面のまちづくり活動に寄与できるよう、県や市の関係行政機関や図書館(閲覧用・保存用)、さらには報道機関等に配付する。

3 十周年記念事業

- (1) 記念式典 11月に奥州市内のホテルにて開催
- (2) 表彰状・感謝状贈呈 記念式典において発表し、手作りで作成し贈呈
- (3) 記念講演会 記念式典と併せて実施
- (4) 会報に特別掲載 「十年の歩みを振り返って」の特集記事を掲載

4 講演会

- (1) 開催時期 11月(十周年記念式典に併せ、記念講演会として実施)
- (2) 開催場所 奥州市内のホテル
- (3) 講師 文化人等を検討
- (4) 交流会 終了後、会費制で講師を交え、交流会(懇親会)を開催する。

- 5 政治家、行政政策責任者等又は社会で幅広く活躍する人材との意見交換会
- (1) 開催時期 2月
 - (2) 開催場所 奥州市内
 - (3) 実施内容 政治家、行政政策責任者等又は社会で幅広く活躍する人材を招き、講話いただいた後、意見交換する。
- 6 行政機関、政党等への政策提言活動
- (1) 実施時期 12月～2月(文書による提言行動)
 - (2) 実施場所 行政機関、政党等の事務所
 - (3) 実施方法 ①4月及び7月の会報で会員に呼びかけ、意見等募集→②10月の会報で中間報告→③11月の役員会で提言内容と活動手順を確認し、マスコミ発表→④12月～2月に訪問や文書による提言行動
- 7 いわて平成松下村塾運営事業
- (1) 実施時期 第八期7～8月、第九期1～3月。ただし、受講者の希望に応じて随時開催も検討
 - (2) 実施場所 奥州市内のいわて未来研事務所又は公民館等
 - (3) 実施方法 塾生は公募し、首長経験者、議員経験者等が講義・指導する。
 - (4) 実施条件 塾生1名から実施
- 8 会員等親睦交流事業
- (1) 実施時期 9～10月
 - (2) 実施場所 県南地域の観光地を中心に検討。併せて公共的施設視察も検討。
 - (3) 実施内容 水沢自動車学校バス(9人乗り)と参加者マイカーに分乗し、研修視察しながら、懇談交流。
 - (4) 実施方法 会員による実行委員会を組織して実施。7月号の会報で参加を呼びかける。会費制(マイカー利用者は比較低額に)、昼食懇談会実施など。会員以外の参加も歓迎。
- 9 その他の事業
- (1) 報道機関等の協力を得ながら政策提言・表明を積極的かつ効果的に行なう。
 - (2) その他会の目的達成のため必要な事業を行なう。

上記のとおり提案致します。

令和2年6月20日

特定非営利活動法人

いわて未来政策・政経研究会 会長 相原 正明